

第8回 市民公開講座

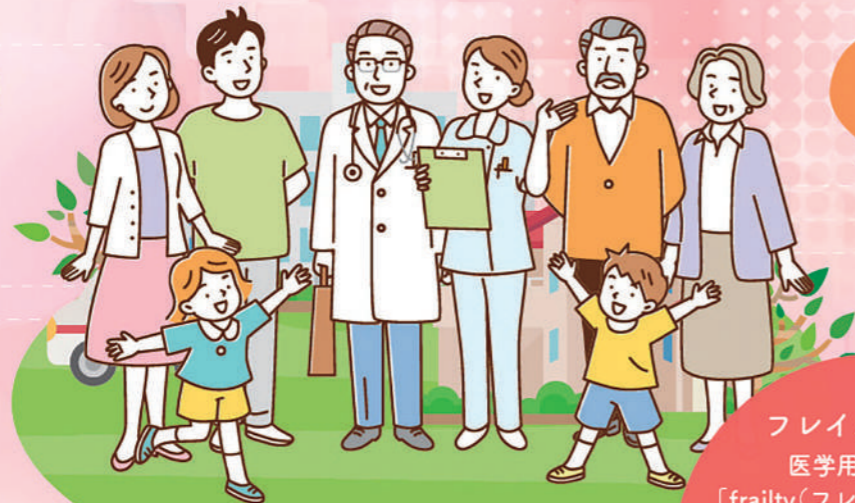
「最期まで“笑顔”で生き抜く ～ともに暮らそう 住み慣れたこのまちで～」

生き生きと生きていくための フレイル予防

参加費
無料

要約筆記
あり

参加申込
不要



フレイルとは・・・
医学用語である「frailty(フレイルティー)」の日本語訳で、病気ではないけれど、年齢とともに、筋力や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい、健康と要介護の間の虚弱な状態のことです。

令和5年 11月18日(土)

開場:13:00 開演:13:30~15:30

会場:クリスタルアージュ 大ホール(安芸高田市民文化センター)

『フレイル予防について講演』(4演題 各20分)

1. JA吉田総合病院の状況報告・フレイルについて

JA吉田総合病院
病院長 杉山 英二



3. フレイルと認知症

JA吉田総合病院
精神科主任部長 高石 佳幸

2. フレイルと口腔ケア

吉村歯科医院
院長 吉村 直規



4. フレイルと運動

JA吉田総合病院
リハビリテーション科長 室地 敏雄



当日会場にて、フレイル予防に関する展示をロビーにて行いますので、ぜひご覧ください。

※新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に配慮して開催いたします。今後の感染状況により中止となる場合もございます。

後援/安芸高田市医師会・安芸高田市歯科医師会・安芸高田市医師会訪問看護ステーション・社会福祉法人安芸高田市社会福祉協議会・安芸高田市居宅介護支援事業所連絡協議会
安芸高田市老人福祉施設連絡協議会・芸北地域保健対策協議会・安芸高田市民生委員児童委員協議会

問合せ先 (事務局) JA吉田総合病院 医療福祉支援センター 電話 0826-42-0636(代表)

やさしい心で
良質な医療を

JA吉田総合病院

発行/広島県厚生農業協同組合連合会 吉田総合病院
〒731-0595 広島県安芸高田市吉田町吉田3666
Tel.0826-42-0636 Fax.0826-47-0007
2023年(令和5年)11月発行
https://yoshida-gene-hospi.jp

患者・家族の皆様安心してもらえる
療養環境を提供します。

5階病棟科長 西本 小夜



JA吉田総合病院の5階病棟は、高齢化社会への対応を目的として平成11年4月より一般病棟から療養病棟に変更し運用を開始しました。療養病棟は、全科の患者様を受け入れ、病床数は46床で看護師17名、看護補助者(介護福祉士等)12名、クラーク1名、各科の医師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、退院支援の相談員など様々な医療スタッフと共に情報共有し病棟運営を行っています。

現在、全国的に高齢化が進む中、病気や加齢による様々な機能低下により在宅での暮らしが困難な高齢者が増えています。そのため当院では、療養病棟だけでなく地域包括ケア病棟(西2階病棟・3階病棟)の運用を開始し、在宅復帰に力を入れています。しかし、地域包括ケア病棟は、入院期間が60日以内の条件があり、長期療養の必要な方や在宅にすることが出来ず

施設の受け入れを待つおられる方は、日数が足らなくなることがあります。その時は、5階病棟へ転棟して頂き安心して療養を継続して頂けるよう支援しています。また、急性期病棟(4階病棟・6階病棟)からは、急性期治療を終えても引き続き医療やリハビリが必要な方、慢性期疾患で酸素療法や透析療法などの医療依存度が高い方を受け入れています。この医療依存度の高い方の中には、末期がんにより在宅での生活が困難となり緩和治療を行いながら人生の最期を迎える方もおられ「看取り」に向けた療養生活の支援や家族との関わりを行っています。そのために、私たちは少しでも患者様の希望に添えるように家族と医師や相談員などと共に「人生の最期をどう過ごされたいか」「その患者様はご本人だったらどう思われるか」などを話し合い、患者様のその

人らしさと意思決定を尊重したケアを実践していくことを目指しています。

日常の業務では、看護師は主に患者様の医療的な処置やケアを行い、看護補助者は入浴介助や日常生活動作を行う上でより近い存在として援助をしています。療養生活を送っておられる患者様にとって、この病棟は大切な「生活の場」と考えています。近年、新型コロナウイルスが流行すると集団でのレクリエーションが困難な状況があります。しかし、少しでも療養生活で楽しみや喜びを感じて頂けるように個人レクリエーションを行うなど工夫をしています。

これからも療養病棟の役割に応えられるようにスタッフ一同で取り組み、患者様に安心して療養して頂けるように努めていきます。



新任のご挨拶 事業局長 岩崎 英法



9月よりJA吉田総合病院事業局長に着任いたしました岩崎と申します。安芸高田市唯一の総合病院で事業局長として勤務することとなり、身の引き締まる思いではございますが、職責を果たせるよう努力して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、JA吉田総合病院での勤務は約4年半ぶりとなります。その間には新型コロナウイルス感染症の流行やウクライナ情勢などの影響による物価の高騰など、我が国の社会情勢を揺るがす出来事が多数起きており、当院の事業運営にも多大な影響を与えております。新型コロナウイルス感染症の位置付けは5月8日から5類感染症に変更となり、日常生活が少しずつ平常時に戻りつつあるように思われますが、感染症は未だ終息せず、当院においてもウィズコロナ対策を図りながら診療業務を行っております。感染防止対策について、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

JA吉田総合病院は今年4月に開設80周年を迎えました。昭和初頭、安芸高田市(旧高田郡)には無医村が7カ所もあり、昭和10年頃、「農民のための農民病院をつくろう」と農民運動が発端となり、昭和18年4月に54床で病院運営を開始した歴史ある病院であります。先人たちの想いを引き継ぎ、地域の基幹病院としての使命を果たすべく、医療・保健・福祉の取り組みを推進し、行政や地区医師会、関連施設の皆様方のご協力を賜りながら、地域に愛される病院づくりに努めて参ります。

今後とも、ご指導ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。

第52回 院内学会開催報告 日時 令和5年 10月12日(木)

院内学会発表演題・部署

① 放射線科

MRI拡散強調像における測定温度と粘度の関係

② 3階病棟

地域包括ケア(3階)病棟のこれまでの歩みと現状について

③ 感染防止対策室

精神科閉鎖病棟における新型コロナウイルス感染症クラスターを経験して

④ 薬剤科

当院におけるバンコマイシン血中濃度2点採血とトラフ値1点採血から算出された推奨投与量の違いについての検討

⑤ 内科

退院調整に難渋したキーパーソン不在、社会的フレイルの高齢患者の一例

今回は、医師、看護師、薬剤師、放射線技師の方々から5題の発表がありました。現代の社会的背景に関連した内容や専門的な分野を追求した内容など、普段はあまり触れることのない内容で、大変勉強になりました。それぞれの発表を通して、より良い医療の提供を目指すためには、各々の分野における知識・技術の研鑽に努めることをはじめ、多職種で連携し、情報の共有をしていくことが大切だと思いました。そのためにも、常日頃から各部署で行っている取り組みを院内学会といった場で発表・披露し、多職種の方々に知ってもらうことはとても有意義なことだと思っております。次回は2月の開催予定です。多くのご参加をお待ちしております。



インフルエンザ予防接種のご案内

10月16日(月)～12月22日(金)

の期間でインフルエンザの予防接種を実施します。
※ワクチンは無くなり次第終了します。

受付場所 正面玄関ロビー(小児は小児科外来)

※小児科は予約が必要です

インフルエンザ予防接種料金		インフルエンザ予防接種料金(小児科)	
一般	4,600円(税込)	小児一般(中学生以下)	4,600円(税込)
小児科の2回接種で当院で2回目	3,600円(税込)	小児科の2回接種で当院で2回目	3,600円(税込)
65歳以上(接種券あり)	1,500円(税込)		
60～64歳で身体障害者一級程度に該当する方(接種券あり)	(安芸高田市の方) ※市町村により異なります		
65歳以上で生活保護世帯(接種券あり)	自己負担なし		

診療時間内にお申し出ください。また、インフルエンザ接種のみの来院でも診察がございますので、待ち時間が発生しますが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。
広島県厚生農業協同組合連合会 吉田総合病院 病院長

- ・接種券の提示がない場合は65歳以上の方でも一般の料金となります。
- ・三次市・庄原市の方の接種券は当院にありますが、それ以外にお住いの方は、地元の役所等へお問い合わせください。
- ・接種券には使用期間がありますのでご注意ください。

病院敷地内の草刈りを実施しました!

9月26日(火)に病院職員とボランティアの方で、病院駐車場の周囲の草刈りや花壇の清掃を実施しました。熱中症対策としてこまめな水分補給と休憩を取りながら作業を行い、予定の範囲を刈り終えることができました。ゴミや草が無くなり、視界が良くなったため気持ち良くご来院いただけると思います。当院では、患者さんが安心して過ごせる環境を整えるため、日々努力をしています。今後も病院の環境をしっかりと整備していきたいと思っております。

